

想定される課題

区分		行政区域	小学校区	中学校区	日常生活圏域
想定される課題	幼稚園 (幼稚園型認定こども園)	幼稚園がない区域において、教育確保についての対応が必要となる。(新田、向島、小野、富海)	幼稚園がない区域において、教育確保についての対応が必要となる。(富海小、新田小、向島小、小野小)	一部区域において、現在の利用実態が把握できておらず、計画的な施設配置の検討のためのデータが不十分である。	
	保育所	入所割合が110%を超える区域が3区域あり、区域間の量の平準化、量的拡大が課題となる。(新田、華浦、小野)	入所割合が110%を超える区域が4区域あり、区域間の量の平準化、量的拡大が課題となる。(新田小、華浦小、小野小、玉祖小)	入所割合が110%を超える区域が1区域あり、区域間の量の平準化、量的拡大が課題となる。(小野中)	入所割合が110%である区域が1区域あり、量的拡大が課題となる。(南)
	量の見込み	事業の供給が区域内で完結していない区域においては、量の見込みの予測が難しい。	区域外からの教育・保育施設利用者が多い区域があるため、量の見込みの予測が難しい。	ニーズ調査の区域と符合しないため、計画的な施設配置の検討のためのデータが不十分である。	事業の需給が区域内で完結していない区域においては、量の見込みの予測が難しい。
	その他	就学前児童数が少数の区域があり、効率性の面からみて事業量の確保が課題となる。	就学前児童数が少数の区域があり、効率性の面からみて事業量の確保が課題となる。	中学校区以外での区域設定がなく、他の計画・事業との整合を保ちにくい。	他の区域と比べ、面積が広がるため、利用実態と離れてしまう可能性がある。